

# 市駅前ストリートガーデン「しえきのにわ」について

市駅前ストリートガーデン「しえきのにわ」は、まちを歩く人々が緑に親しみながら憩える「みちの庭」として、本年3月より市駅前通り（市道と歌山市駅前線）の歩道の一部に設置された、「パークレット」\*と呼ばれる形式の歩行者滞在空間です。芝生(天然芝を用いたパークレットは全国初!?)とウッドデッキのエリアを中心に、ベンチやプランターなどを設置しており、休憩や飲食など、どなたでも自由にご利用いただけます。

市駅グリーンプロジェクトでは、市駅前通りに歩行者空間と緑地を充実させ、まちなかで過ごす人々のライフスタイルを彩り、訪れる人々にとっても魅力的な、和歌山市のシンボルストリートとして再生することを目指しています。

「しえきのにわ」は、このような市駅前通りの将来像の実現に向け、歩行者の滞在空間を生み出すための通年型の社会実験として設置しています。

昨年、(一社)市駅グリーンプロジェクトのメンバーと和歌山大学観光学部永瀬研究室の学生を中心に、ウッドデッキや花壇の整備を進めてきました。今後は、新たに4ヶ所（東側・西側歩道にそれぞれ2ヶ所）への追加設置を予定しており、さらなる充実を目指します。

市駅前通りをご利用の際は、「しえきのにわ」をぜひご利用ください！



### \*パークレットとは？

道路上に人々が休憩や飲食等に利用できる仮設的な空間を設置したものです。米国サンフランシスコ発祥で、都市の歩行者空間が見直される中で、日本を含め世界各地に広まっています。



▲御堂筋パークレット（大阪市）

## 祝 「しえきのにわ」の拡張計画が国土交通大臣賞を受賞しました！

「しえきのにわ」の拡張計画が、(公財)都市緑化機構と(一財)第一生命財団の主催による「第35回緑の環境プラン大賞」のポケット・ガーデン部門にて、最高賞の「国土交通大臣賞」を受賞しました。これは緑豊かな都市環境やコミュニティ形成に資する緑化プランの優秀作を表彰し、実現のための助成を行うもので、今年度はシンボル・ガーデン部門と合わせて38件の応募の中から、(一社)市駅グリーンプロジェクトによる本プランが選ばれました。

本年12月16日に明治記念館（東京都港区）にて表彰式が行われ、今後は助成金を得て拡張整備を実施する予定です。



## 編集後記

今年で「シエキノカワ」社会実験は7年目となりました。毎年新しい試み続けるこの社会実験ですが、今年はテントで過ごすデイキャンプ、ハロウィンテーマとした装飾と工作体験の企画を新たに実施しました。子ども向けに実施したハロウィンバケツの工作体験では、製作の手伝いや「トリックオアトリート」というちょっとした会話を通じて、地域のご家族や子どもたちと交流することができました。いち運営メンバーでありながらも、この社会実験に関わることで、「和歌山市で過ごす時間」を純粋に楽しむことができました。

市駅前通りでの「しえきのにわ」もまた、今年から新たに始まった取り組みです。ストリートガーデンという新たな空間が、これから和歌山市駅前の日常としてあり続け、和歌山市民のみなさんの交流や休憩を生み出すことを楽しみにしています。

地域の皆さんとともに取り組む2つの社会実験を通じ、市駅周辺エリアを憩いの場にできるよう、今後も取り組みを続けてまいります。

和歌山大学観光学部永瀬研究室  
3年生 中村玲奈

# 市駅まちづくり通信 19

「河川敷」と「ストリートガーデン」を、まちでくつろぐ新たな選択肢に

第19号 2024.12.24 発行：市駅まちづくり実行会議 編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室



SHI-EKI  
CLEAN  
GREEN  
PROJECT

## 《シエキノカワでピクニック&キャンプ》開催！

今年も10月27日(日)に、紀の川河川敷にて社会実験「シエキノカワでピクニック&キャンプ」を実施しました。7年目となる今回も、紀の川の流れを眺めながらくつろぐことのできる水辺の縁側の設置や、カヌー体験、BBQ体験といったアクティビティ、学生による音楽ステージなどの企画を用意し、水辺空間の幅広い楽しみ方を来場者の皆様に体験していただきました。3年目となる宿泊キャンプは、3組5名の方に参加していただきました。また、新たな企画として、日中もキャンプを楽しむように滞在できるデイキャンプも実施しました。

ピクニック当日の延べ来場者数は206人でした。今年度は直前まで悪天候が予想され、衆院選や他のイベントと重なったこともあり、来場者数は例年より少ない結果となりましたが、当日は降雨もなく、予定していた全企画を無事に実施することができました。



## 市駅前通りに《しえきのにわ》設置中！

本年3月より、市駅前通り（市道と歌山市駅前線）の西側道路の一部を活用した社会実験として、まちを歩く人々が緑に親しみながら憩えるストリートガーデン「しえきのにわ」を設置しています。天然芝をウッドデッキで囲んだエリアを中心に、ベンチやプランターを配置し、誰でも自由に滞在することができます。この取り組み(今後の計画)は、「第35回緑の環境プラン大賞」の国土交通大臣賞を受賞することができました(詳細は4面に掲載)。今後は設置範囲を拡張し、より親しみやすく、くつろげる空間を目指して社会実験を継続していきます。



「しえきのにわ」の詳細については、(一社)市駅GPPのWebサイト「しえきのいま」にて公開しています。  
▶ <https://shiekigpp.com/>

# シエキノカワでピクニック&キャンプ

## 2024.10.27

### 《実施内容》

## 水辺のピクニック

### ●水辺の縁側

今年も川のほとりの芝生広場に畳ベンチやハンモックを設置し、憩いの空間を設けました。開放的な紀の川の景色を眺めながらつろいだり、軽食を楽しんだり、来場者の皆さんが家族や友人とゆったりとした時間を過ごす様子が見られました。

また、今年は会場全体にハロウィンをモチーフにした装飾を行いました。水辺の縁側には、紀の川を背景に写真を撮ることができるハロウィンのバルーンアーチを設置しました。子どもたちの笑顔とともに、多くの方々に撮影をしてもらえるフォトスポットとなりました。



## アクティビティ

### ●カヌー体験

エディーカヌースクールによる毎年人気のカヌー体験。見慣れた紀の川も、カヌーの上から眺めることで新たな魅力を発見できたのではないのでしょうか。



### ●コーンホール体験

アメリカ発祥の投げ入れゲーム。初めて体験するお子さんも徐々にコツをつかみ、なかには腕を磨いた達人も！



### ●シャボン玉体験・あおぞら紙芝居

子育て支援拠点施設「育ちのえきくすの木」のブースでは、今年も紙芝居とシャボン玉体験を実施。子供から大人まで楽しんでいただきました。



### ●けん玉体験

今回初参加の日本けん玉協会和歌山支部の皆さんによる華麗なパフォーマンスに会場全体が釘づけ！けん玉の体験ブースも賑わっていました。



## ハロウィンバケツ作り体験

今年は小学生以下のお子さんを対象に、ハロウィンにちなんだ工作体験を企画しました。これは紙コップと画用紙などを使って、カボチャをモチーフにしたオリジナルのハロウィンバケツを手作りするものです。最後に出来上がったハロウィンバケツを持って、学生スタッフに「トリックオアトリート」と声をかけるとお菓子がもらえる、という仕掛けも用意し、子どもたちの素敵な笑顔をたくさん見ることができました。



## 音楽ステージ

和歌山大学の学生団体による水辺の音楽ステージでは、今年は吹奏楽団、ジャズ研究会 Uncle Jam、OGバンド jazz tadpoles の3団体による演奏が行われました。紀の川を背景にした開放的な場所での素敵な音楽パフォーマンスにより、来場者・出演者の皆さんにとって心地よい午後のひと時をつくりあげることができました。

お昼には日本けん玉協会和歌山支部の皆さんによるけん玉パフォーマンスが会場に華を添えました。



## 飲食・出店

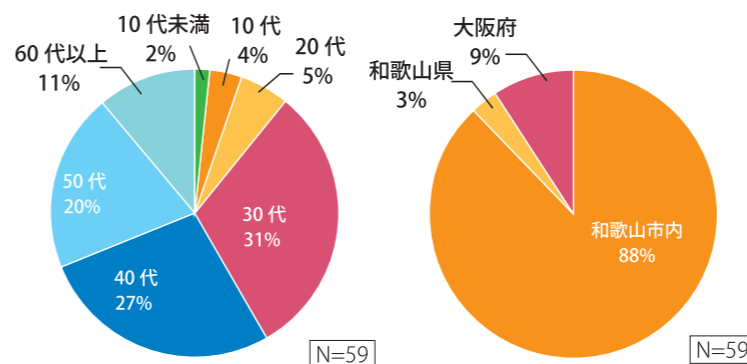
今年もキッチンカーの出店や、(一社)市駅GGPによる軽食やドリンクの販売、事前予約制のBBQ体験を実施し、パラソル付きのテーブル席を設け、多くの方々に軽食やドリンクを楽しんでいただきました。まちなか百姓養成塾による農産物販売も行われ、賑わいを見せました。



## アンケート結果

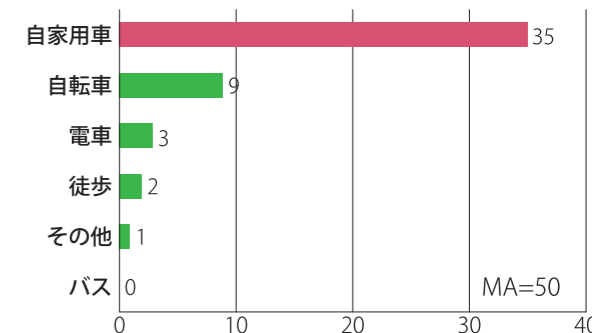
今年度来場者は延べ206人となり、そのうち59人の方にアンケート調査にご協力いただきました。結果の一部をご紹介します。

### Q.回答者の年齢と居住地



今年例年以上に和歌山市内からの来場者が多く、回答者の9割近くを占めました。年齢層は40代以下の若い世代の方が7割近くを占め、小さいお子様連れなど、ご家族で来場される方々が多く見られました。

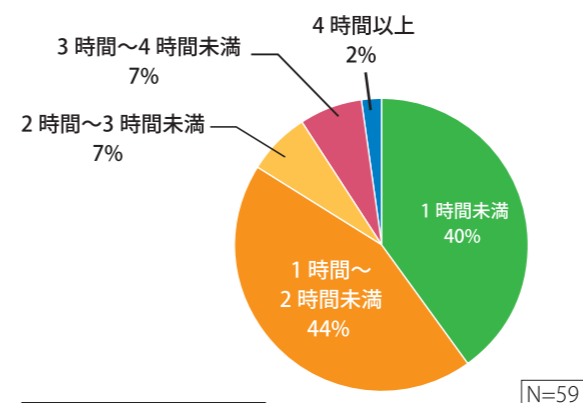
### Q.今日どの交通手段で来場されましたか？(複数回答)



今年度は自家用車での来場が多い結果となりました。和歌山市駅活性化のためにも、電車やバスでの来場がもう少し増えるような仕掛けが必要だと感じました。

### Q.滞在時間はどのくらいでしたか？

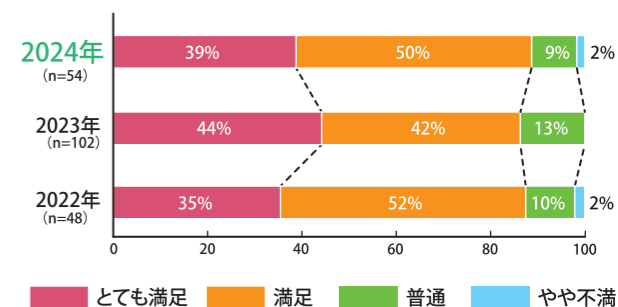
※滞在中の場合は予定時間を回答。



平均滞在時間 60分

回答者の平均滞在時間は例年より短い60分となりましたが、6割は1時間以上滞在されていました。会場にはお子さま向けの企画も多く、さまざまなブースで楽しんでいただいたことが窺えます。

### Q.全体の満足度について



「とても満足」「満足」が9割を占める結果となりました。満足度調査とともにいただいたコメントでは、飲食ブースへのコメントが多く見られました。

今回の社会実験のアンケート結果(全体版)は(一社)市駅GGPのWebサイト「しえきのいま」のレポート記事にて公開しています。  
▶▶ <https://shiekigpp.com/report/>

## 宿泊キャンプ/デイキャンプ

今年度は宿泊キャンプ体験者は3組5名、デイキャンプの利用者は4名でした。

今年も前日から1泊2日のキャンプ体験を実施するとともに、27日の日中の来場者にもテントを貸出し、デイキャンプ体験を実施しました。事前に悪天候が予想されたこともあり、キャンプ体験の参加者は3組と少なかったものの、河川敷での非日常のキャンプ体験

を楽しむ様子が見られました。デイキャンプではピクニック気分を満喫していただき、都市近郊の河川敷を活用した「アーバンキャンプ」の可能性をあらためて実感しました。参加者へのアンケートでは、以下のような感想をいただきました。



- ・テント内で何かできればより楽しめる。
- ・日常的にBBQができる場所があるといいと思います。
- ・河川敷を整備し、キャンプ地をつくったり、こういうイベントをもう少し増やしてほしい。